

市内唯一の県立高校

鳥羽高校の魅力をお伝えします！

文理進学系列2年次授業「鳥羽学」

三重県立鳥羽高等学校 ☎ (25)2935

企画財政課企画経営室 ☎ (25)1101

「鳥羽学」では市と鳥羽高校が連携しながら授業に参加し、実践的な地域学習やキャリア教育の推進に努めています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響より、1学期の授業数が減るなどしたため、2学期に入ってから本格的に地域での授業を行っています。今回は授業の様子を紹介します。

鳥羽なかまち

地域おこし協力隊を卒業した佐藤創さんが講師となり、高校生の視点でPRしたい地域の強みや課題を解決するための動画づくりを行っています。

これまで3回、鳥羽なかまちを舞台にフィールドワークを行い、実際の店舗やなかまちで活躍するかたの話を聞くなど、地域の課題や強みについて現地を見ながら学んできました。

今後は動画のテーマを確定した後、絵コンテを作成して動画のイメージや撮影の流れを確認し、実際の撮影に入っていきます。



石鏡町

地域おこし協力隊の上田茉莉子さん・佐藤千裕さんとともに、昨年度に引き続き海女のVR動画を制作する班と、地域課題を学び地域にフィードバックする班に分かれて授業を行っています。

先日、両班ともに石鏡町でフィールドワークを行いました。地域のかたから石鏡町の伝統や漁師、釣り船、海女などのくわしい説明をしていただきました。フィールドワーク中に大海原を見た生徒は「海だ！すごい！きれい！！」と感動していました。

VR班では株式会社アルファコードの水野拓宏社長より、VRコンテンツの創り方や撮り方を具体的に指導していただきました。普段からゲームに親しんでいる生徒たちは、水野社長がプレステ時代からゲームのコンテンツを創ってきた経験などに興味津々でした。身近に感じてきたゲームを創ってきたかたとのオンライン講義をとおして、普段は会えない人生の先輩との交流は、高校生という多感な時期の学生たちにとっても良い刺激になったと思います。

もう一つの班では、コロナ禍でインターネットを活用した学習や佐藤千裕さんの話などを聞きながら、石鏡町について学びました。フィールドワークの際にこれまで取り組んできた内容や、今現在、地域のかたが考えていることなどを聴取し、自分たちが考えてきたことと実際の地域の実情とのすり合わせを行いました。今後、石鏡町でこんなことができないかという事業案について地域に提案をしていく予定です。



鳥羽高校の進路について

県内外の大学の指定校推薦枠も多くあり、公立大学の三重県立看護大学をはじめ、皇學館大学、中央大学、日本福祉大学、鈴鹿医療科学技術大学などの私立大学にも進学しています。また、就職については、県内の株式会社赤福、旭電器工業株式会社、株式会社鳥羽水族館、シンフォニアテクノロジー株式会社、井村屋株式会社、伊勢農業協同組合など、県外ではトヨタ自動車株式会社、山崎製パン株式会社、アイシン精機株式会社などの製造業をはじめとするさまざまな企業から求人をいただき、就職しています。